



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月2日

上場会社名 日本管財株式会社

上場取引所 東

コード番号 9728 URL <https://www.nkanzai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 慎太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務統括部長 (氏名) 岡元 重樹

TEL 03-5299-0863

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	75,090	4.9	5,140	0.3	5,408	0.4	3,553	3.8
2020年3月期第3四半期	78,966	10.3	5,154	1.6	5,432	2.4	3,422	1.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,937百万円 (18.1%) 2020年3月期第3四半期 3,333百万円 (48.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	95.05	
2020年3月期第3四半期	92.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	77,260	55,006	69.6
2020年3月期	77,024	53,029	67.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 53,750百万円 2020年3月期 51,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		25.00		25.00	50.00
2021年3月期		25.00			
2021年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	1.6	7,000	2.1	7,400	2.3	4,600	5.8	123.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	41,180,306 株	2020年3月期	41,180,306 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,796,818 株	2020年3月期	3,796,758 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	37,383,536 株	2020年3月期3Q	36,952,656 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に掲記されている科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により景気は低迷し、国内外における経済活動の長期的な停滞により、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

不動産関連サービス業界におきましては、新型コロナウイルス感染症対策としてのテレワーク導入や郊外のサテライトオフィス設置などにより、都市集中型から分散型へ変わりつつあり、オフィスや商業ビルの空室率は、一部の地域を除き上昇に転じております。また、契約先のコスト削減意識が高まる懸念もあり、今後は厳しい経営環境が継続すると予想されます。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、顧客ニーズに応えた良質なサービスを継続的に提供するため、先進的な技術と対応力で「最適な建物管理」を追求し続け、建物の資産価値の向上に努めております。

また、主力のビル管理業務の一層の強化・向上を図るとともに、PFI事業や公共施設マネジメント事業などの周辺業務にも積極的な展開を図っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、工事関連業務や臨時業務の受注が伸び悩んだことにより、750億90百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。

利益面におきましても、仕入形態の見直しや時間管理の徹底を図ったものの、売上が伸び悩んだことや組織体制強化に伴う人件費等の増加により、営業利益は51億40百万円(前年同四半期比0.3%減)、経常利益は54億8百万円(前年同四半期比0.4%減)とわずかに前年同四半期を下回りましたが、投資有価証券売却益を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億53百万円(前年同四半期比3.8%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(建物管理運営事業)

主たる業務であるビル管理業務及び保安警備の建物管理運営事業につきましては、工事関連業務の受注が伸び悩んだことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は525億43百万円(前年同四半期比5.9%減)となりました。

利益面におきましても、コストの削減に努めてまいりましたが、売上が伸び悩んだことや体制強化に伴う人件費等の増加により、セグメント利益は68億7百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

(住宅管理運営事業)

マンション及び公営住宅の管理を主体とする住宅管理運営事業につきましては、工事関連業務の中止や延期による受注の減少により、当第3四半期連結累計期間の売上高は120億61百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。

利益面におきましては、収益性の高い業務の受託や原価の抑制に努めたことにより、セグメント利益は11億29百万円(前年同四半期比6.2%増)となりました。

(環境施設管理事業)

上下水道処理施設等の生活環境全般にかかる公共施設管理を主体とする環境施設管理事業につきましては、契約更改が堅調に推移したことに加え、工事関連業務等の受注が増加したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は81億99百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。

利益面におきましても、料金改定による原価率の改善に加え、適正な人員配置を中心にコスト削減に努めてまいりました結果、セグメント利益は11億3百万円(前年同四半期比9.5%増)となりました。

(不動産ファンドマネジメント事業)

不動産ファンドの組成・資産運用を行うアセットマネジメント及び匿名組合への出資を主体とする不動産ファンドマネジメント事業につきましては、運用資産の売却等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は14億38百万円(前年同四半期比24.0%増)となりました。

利益面におきましては、運用資産の売却に伴う利益の増加はあったものの、ホテル関係のマスターリース契約による賃料収入が減少したことにより、セグメント利益は64百万円(前年同四半期比38.6%減)となりました。

(その他の事業)

イベントの企画・運営、印刷、デザインを主体としたその他の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント業務の多くが中止となったことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は11億29百万円(前年同四半期比43.1%減)となりましたが、収益性の高い業務を受託できたことにより、セグメント利益は2億36百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、売上債権の回収による売掛金の減少や販売用不動産の売却に伴う減少はありましたが、外注費の前払いによるその他の増加等により、前連結会計年度末に比べ2億36百万円(0.3%増)増加して772億60百万円となりました。

負債は、買掛金の支払いや賞与引当金の取崩しにより、前連結会計年度末に比べ17億40百万円(7.3%減)減少して222億53百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ19億76百万円(3.7%増)増加して550億6百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.4ポイント増加し69.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く環境は、引き続き予断を許さない状況で推移することが予想されます。

業績予想に関しましては、概ね2020年5月7日に公表いたしました業績予想のとおり推移しており、通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,588	29,259
受取手形及び売掛金	13,989	12,681
事業目的匿名組合出資金	81	80
貯蔵品	138	153
販売用不動産	4,302	3,533
未収還付法人税等	57	86
その他	1,647	3,042
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	48,797	48,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,111	3,008
機械装置及び運搬具（純額）	33	26
工具、器具及び備品（純額）	483	496
土地	1,167	1,234
リース資産（純額）	236	233
建設仮勘定	222	429
有形固定資産合計	5,254	5,428
無形固定資産		
電話加入権	46	46
ソフトウェア	454	446
のれん	1,686	1,585
リース資産	4	2
ソフトウェア仮勘定	47	-
無形固定資産合計	2,239	2,080
投資その他の資産		
投資有価証券	14,633	14,721
長期貸付金	577	788
長期前払費用	66	41
敷金及び保証金	3,697	3,597
会員権	391	391
退職給付に係る資産	518	575
繰延税金資産	525	497
その他	381	369
貸倒引当金	△59	△58
投資その他の資産合計	20,732	20,924
固定資産合計	28,226	28,433
資産合計	77,024	77,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,587	7,274
1年内返済予定の長期借入金	375	375
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	25	19
リース債務	87	89
未払費用	2,215	2,836
未払法人税等	1,070	627
未払消費税等	1,273	1,211
預り金	282	897
前受金	337	630
賞与引当金	714	108
資産除去債務	1	-
その他	49	59
流動負債合計	15,019	14,131
固定負債		
長期借入金	1,125	843
長期ノンリコースローン	2,953	2,341
リース債務	195	182
繰延税金負債	266	609
退職給付に係る負債	548	186
長期預り保証金	2,598	2,501
資産除去債務	253	253
持分法適用に伴う負債	40	24
その他	992	1,179
固定負債合計	8,974	8,122
負債合計	23,994	22,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	3,785	3,785
利益剰余金	47,833	49,516
自己株式	△2,773	△2,773
株主資本合計	51,845	53,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,621	1,941
為替換算調整勘定	△1,227	△1,323
退職給付に係る調整累計額	△460	△397
その他の包括利益累計額合計	△65	220
非支配株主持分	1,249	1,256
純資産合計	53,029	55,006
負債純資産合計	77,024	77,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	78,966	75,090
売上原価	63,041	59,014
売上総利益	15,925	16,076
販売費及び一般管理費		
販売費	563	528
人件費	6,106	6,351
賞与引当金繰入額	96	84
退職給付費用	188	217
旅費交通費及び通信費	823	674
消耗品費	318	360
賃借料	757	777
保険料	362	355
減価償却費	282	304
租税公課	85	86
事業税	225	240
貸倒引当金繰入額	3	2
のれん償却額	101	101
その他	855	850
販売費及び一般管理費合計	10,770	10,935
営業利益	5,154	5,140
営業外収益		
受取利息及び配当金	141	141
受取賃貸料	40	40
持分法による投資利益	87	90
為替差益	28	25
その他	76	90
営業外収益合計	374	389
営業外費用		
支払利息	21	19
賃貸費用	38	37
固定資産除売却損	5	31
その他	31	32
営業外費用合計	96	121
経常利益	5,432	5,408
特別利益		
投資有価証券売却益	-	217
事業分離における移転利益	27	-
特別利益合計	27	217
税金等調整前四半期純利益	5,460	5,626
法人税、住民税及び事業税	1,547	1,773
法人税等調整額	387	209
法人税等合計	1,934	1,982
四半期純利益	3,525	3,643
非支配株主に帰属する四半期純利益	102	90
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,422	3,553

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,525	3,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77	325
為替換算調整勘定	△4	9
退職給付に係る調整額	41	64
持分法適用会社に対する持分相当額	△307	△105
その他の包括利益合計	△191	293
四半期包括利益	3,333	3,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,228	3,839
非支配株主に係る四半期包括利益	105	97

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
	建物管理 運営事業 (百万円)	住宅管理 運営事業 (百万円)	環境施設 管理事業 (百万円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	55,865	12,444	7,850	1,159	1,646	78,966	—	78,966
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	337	337	△337	—
計	55,865	12,444	7,850	1,159	1,984	79,304	△337	78,966
セグメント利益	6,982	1,063	1,007	105	229	9,388	△4,233	5,154

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,233百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
	建物管理 運営事業 (百万円)	住宅管理 運営事業 (百万円)	環境施設 管理事業 (百万円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	52,543	12,061	8,199	1,438	847	75,090	—	75,090
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	282	282	△282	—
計	52,543	12,061	8,199	1,438	1,129	75,372	△282	75,090
セグメント利益	6,807	1,129	1,103	64	236	9,341	△4,201	5,140

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,201百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。